

子どもの気質と家庭生活

—幼稚園と保育園児の養育者の信念について—

陳省仁¹・草薙恵美子²・星信子³・安達真由美⁴・高村仁知⁵・大石正⁶

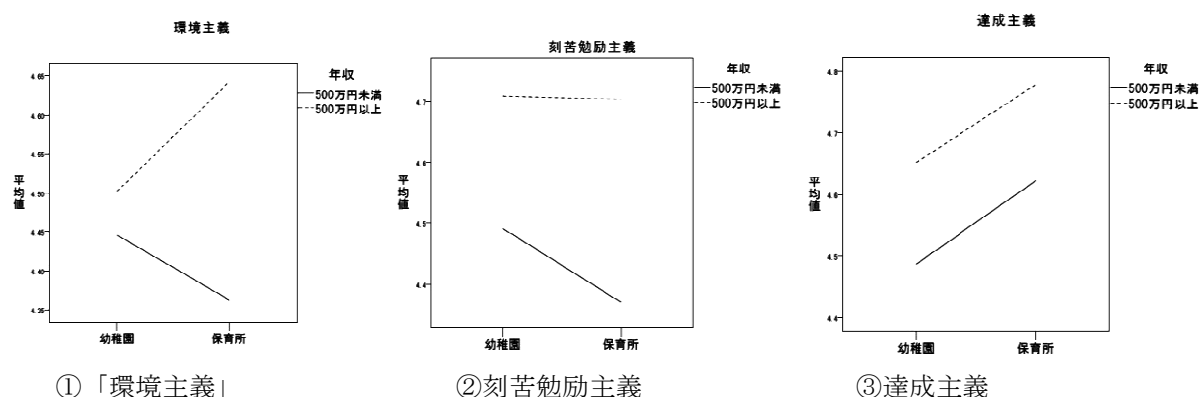
(¹光塩学園女子短期大学・²國學院大學北海道短期大学部・³札幌大谷大学短期大学部・

⁴北海道大学文学研究科・⁵奈良女子大学研究院生活環境科学系・⁶奈良佐保短期大学)

【目的】子どもの気質は生れつきの行動特徴と理解されてきたが、行動発達研究の知見から言えば、発達初期の気質特徴の出現において、環境は重要な要因である。そこで、2010年に修学前の教育経験がのちの学校での学力の違いと関係するという文科省の報告に注目して、幼稚園と保育所で受けた経験との関係を検討することにした。近年の脳科学と気質研究の共同研究から、特に修学前児の注意の制御に関する気質特徴が後の学校における学習や学力との関連が示唆された (Posner & Rothbart, 2007)。本研究の目的は子どもの気質特徴の発達と養育者の信念とどのような関係があるのかを探ることにある。

【方法】日本国内5ヶ所の幼稚園と保育所合計16園の園児（3歳から6歳）の親に調査票記入を依頼した。かく園・所における回収率の平均は66.9%であり、今回の報告と関係する有効な回答数は686名（男児351名、女児335名；幼稚園470名、保育所216名；3歳児153名、4歳児244名、5歳児235名、6歳児44名）であった。子どもの気質に関してはChildren's Behavior Questionnaire (CBQ) (Rothbart, Ahadi, Hershey, & Fisher, 2001)を用いて測定し、特に「外向性・高潮性」、「否定的情動性」、「エフォートフル・コントロール」の3つの気質の特徴に絞った。親の養育に関する信念については、子どもの発達一般、子どもに対する期待、子育てに関するイメージなどに関する20項目のアンケートを実施した。養育者信念に関する20項目の中、本報告で関連性が見出されたもの「環境主義」、「刻苦勉励主義」と「達成主義」と名付けた。

【結果と考察】子どもの気質的特徴「外向性・高潮性」について、性及び通園施設の主効果がそれぞれ有意であり、男児の方が女児よりも、また幼稚園よりも保育所の子どもの方が高かった。エフォートフル・コントロールに関しては、性の主効果が有意であり、女児の方が男児より得点が高かった。3歳児において幼稚園と保育所の間に有意な差がみられ、保育所の子どもの方が幼稚園児よりも得点が高かった。多重比較の結果、3歳児とそれ以上の年長児との間に有意な差が見られた。否定的情動性及び養育者の年収に関して有意な結果は得られなかった（詳しくは草薙・他(2013)の報告を参照）。養育者の信念に関して、養育者の年収と以下の養育者信念と有意、或は有意傾向が見られた：①「周りの人、地域、社会などの環境全てが子どもに一番大きな影響を受ける（「環境主義」）」（ $F(1, 681) = 5.17, p < .005$ ）。②養育者の信念「子どもには一生懸命勉強してほしい（「刻苦勉励主義」）」（ $F(1, 681) = 18.01, p < .001$ ）。③「やりとげようとすることが大切だということを子どもに言う（「達成主義」）」と言う養育者の信念（ $F(1, 679) = 3.69, p < .006$ ）。



これらの結果から、養育者の育児に関する信念・行動と子どもの所属の園や所の違い及び家庭の収入との関係が示唆されたと考える。子どもの気質的特徴と養育者の信念の関係のより詳細な分析は課題である。